

土踏まずの形成考える

倉吉幼稚園 12日に研究発表会

子どもの丈夫な体づくりのため、足遊びなどに取り組んでいる倉吉幼稚園（倉吉市仲ノ町、西田直美園長）は12日、同園で自主公開研究発表会を開く。講演などを通して、子どもの成長に大切な土踏まずの形成について考えてもらう。

裏足！ 鍛えてます！

同園では、姿勢に影響する足裏の発育に着目。2008年4月から実施したプロジェクトチームでの調査結果を踏まえ、土踏まずを形成しやすい運動や足の指や全体を使った遊び、成長に合わせた靴選びなどを実践している。

研究発表会では、新潟

医療福祉大学医療技術部の阿部薫准教授が「足の成長物語」と題して講演。同園園医で、まつだ小児科医院の松田隆院長がコーディネーターを務め、同園での取り組み紹介や、参加者の質問に答え

るミニシンポジウム、足の健康相談などを行う。西田園長は「足の成長は、小学校3年ぐらいまでが大事と言われている。今の時代の子どもの問題としてとらえ、子どもたちが生きる力をつけるために、この取り組みを広げていきたい」と話している。

者らに、研究発表会への参加を呼び掛けている。参加者には、同園の取り組みなどをまとめた「ようちえんがだいすき」と題した冊子を無料配布する。参加申し込みは、3日まで。問い合わせは電話0858(22)4680、同園へ。

(八幡祥代)



冊子を手に発表会への参加を呼び掛ける西田園長